

=====

本メールマガジン[NEE Mail Magazine]は、経済教育ネットワークより会員の皆様にお送りしております。

=====



◆ NEE Mail Magazine 107号 ◆

-----2017-12-1◆◇

12月、師走です。

早くも一年の締めくくりの月となりました。学校は年度の世界なので、多くの学校では二学期の終わりということでしかないのですが、それでも師走です。

期末考査があり、成績処理があり、通知表を出すという一連のイベントが目白押しです。ネットワークでは、27日の「冬の経済教室」のイベントがあります。多忙な学校がお休みになった冬の日、新しいエネルギーを注入するつもりでご参加ください。

こんな今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

-----

【 1 】最新活動報告

11月の活動やニュースを報告します。

【 2 】イベントカレンダー

冬の教室の情報、部会の案内、関連団体の活動などを紹介します。

【 3 】授業のヒント「音読のすすめ」

-----

【 1 】最新活動報告

-----

\* 11月に行われた活動を報告します。

■東京部会(No.96)を開催しました。

日時:2017年11月28日(土) 19時00分~21時30分

場所:慶應義塾大学三田キャンパス研究棟 446会議室

内容の概略:13名参加

(1)新井から、朝日新聞(11月27日付けフォーラム欄)に掲載された、金子先生、杉田先生の主権者教育に関する授業ルポの記事の紹介がありました。

(2)12月27日に予定されている「冬の経済教室」の準備状況の確認が行われました。

参加申込者が現時点で78名にのぼっていて、会場の定員ほぼ満席の状態となることを踏まえて、当日の誘導など、準備作業の確認を行いました。

(3)高橋勝也先生(都立武蔵高・中)の三つの実践報告が検討されました。なかでも「ベーシックインカムの導入を考察する」の実践に関しては、ネットの活用

で情報収集し、ペアトークで意見交換、クラス全員での議論をして、教師のまとめという授業に関して、流れの有効性、授業の最終的なねらい、問いの構造化の課題などが検討されました。また、フレームワークを最初からは与えないで、自発的に発見させてまずは生徒の感性的認識を目指すとする高橋先生の授業構成論に関する議論がおこなわれました。

(4)中学校の新学習指導要領解説の紹介と、星典夫先生(鎌倉市立広手中)から中学校での取り組みが報告されました。新学習指導要領の解説の紹介では、解説原文資料をもとに紹介されました。星先生からは、鎌倉市内の中学校の社会科部会での取り組みの状況と、現場の実態が報告されました。

(5)来年3月に予定されている年次大会のプログラムの検討が行われました。内容は二本柱とすること。一つは、中学校の新学習指導要領の読み解き、もう一つは、高等学校向けに金融の新しい教え方に関する議論をすることが案として提案されました。詳細は、今後詰めることになっています。部会の内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo096report.pdf>

---

## 【 2 】イベントカレンダー

---

\* イベント予定です。

### ■「冬の経済教室」を開催します。(満席になりました。)

今年は、全国公民科・社会科教育研究会授業研究委員会、東京証券取引所との共催で、「経済教育の風を主権者教育に」をテーマにした教室です。

(1)日時:2017年12月27日(水)13時00分～16時55分

(2)場所:慶應義塾大学三田キャンパス東館ホール

(3)主な内容

慶應義塾大学経済学部教授;坂井豊貴先生の講演と埴枝里子(東京都立府中東高校)、大塚康之(大阪府立三国丘高校)、竹内大輔(北海道日高町立日高中学校)の三人の先生が実践報告と全体での討論を行います。

プログラムの詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2017%20keizaikyoushitu/TokyoFuyukeizaiR2.pdf>

### ■先生のための経済教室(沖縄)を開催します。

2018年1月6日(土) 沖縄県立博物館・美術館の美術館・講座室

大杉昭英先生が次期学習指導要領の下での融教育のあり方、河原和之先生が地理と経済の融合授業提案、篠原総一先生が歴史と経済の融合授業についてそれぞれ講演、講義を行います。

内容の詳細、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2018%20keizaikyoushitu/2018Okinawakeizai.pdf>

■先生のための「冬の経済教室」in 札幌を開催します。

2018年1月27日(土) キャリアバンクセミナールーム(Sapporo55ビル)

金子幹夫先生、吉川敦巳先生、濱地秀行先生、篠原総一先生の講義と実践報告を行ないます。

内容の詳細、参加方法は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2018%20keizaikyoushitu/2018Sapporofuyukeizai.pdf>

\* 定例部会のお知らせです。(開催順)

■大阪部会(No.56)を開催します。

日時:2017年12月9日(土) 18時00分~20時00分

場所:同志社大学 大阪サテライト(予定)

参加方法の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Osaka56flyer.pdf>

■名古屋部会(No.14)を開催します

日時:2017年12月16日(土) 15時00分~17時00分

場所:椋山女学園大学 現代マネジメント学部棟

参加方法の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Nagoya014flyer.pdf>

■東京部会(No.97)を開催します。

日時 2018年1月18日(木) 19時00分~21時00分

場所:日本大学経済学部本館会議室

参加方法の詳細は以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo097flyerR.pdf>

## ■読解力をつけるための音読のすすめ

音読のすすめは、斉藤孝さんが『音読で読みたい日本語』を書いて有名ですが、今回のヒントは新井の怪我の功名とでもいえるような出来事からの提案です。この提案の出発になったのは二つです。一つは、国立情報学研究所の新井紀子先生のグループ研究している読解力の調査です。もう一つは、新井が風邪をひき、のどをやられ声が出なくなってしまったことです。

情報学研究所の調査は、11月7日の新聞に掲載された今の中高学生が教科書の内容をきちんと読んでいないという調査データです。私たちは、教科書を教えるのではなく、教科書で教えるのが優れた授業だというイメージを持ってしまいがちですが、実は、生徒はその教科書ですらきちんと読めないという衝撃的な調査結果でした。

こちらの新井の方は、単なる風邪によるものですが、この二つがひよんなことから結びついたわけです。

声が出ないというのは教師にとっては致命的です。そこで、どうしたか。通常はプリントと私の講義で進行してゆく授業を中止して、プリントを読ませ、また、当該部分の教科書を音読させて進行してみたというわけです。

そこで発見したこと。生徒はプリントの短文なら読めるけれど、教科書の文章が読めなくなっていることでした。特に、漢字で出てくる専門用語は苦手であることがよく分かりました。また、文脈で意味をとることがどうも苦手らしいことが読み方で分かりました。読ませたあと必要最小限のコメントをして授業を終えました。

このやり方に、生徒は結構満足そうな表情で、眠くならないし、自分の声で確認出来て理解が深まったようだと言ってくれたのです。

ここからの発見。生徒がなぜ読解力が落ちているのか。一つの仮説として、生徒が教科書を読めないのではなく、読まなくなったから読めないらしいというのが導き出されます。読んではいるのですが、黙読するだけ。また、スマホをみるように、ゴシックで書かれた単語だけを追いながら、見ているだけということではないかということです。

かつては、新聞すら音読をする人がいた時代がありました。また、教科書を一斉に音読させることが小学校などでは行われていました。そういう習慣が、急速にすたれているのではないかと思います。さらに、講義型はだめ、体験的学習が大切という掛け声の中で、これからは、講義すら追放されてしまうかもしれません。

政治学者の丸山真男は『「文明論の概略」を読む』岩波新書、のなかで福澤の原典を音読して、この注釈書を読んでほしいと力説しています。丸山は、「その方が福澤の文章のリズムが一層感得される」としていますが、リズムだけでなく、体で学ぶ

ことで理解が一層進むということではないかと、生徒にプリントや教科書を読ませたこの体験から、思われます。

ただし、音読の効果が見えたというだけで一年通すこともできず、新井の授業は元の解説過多の講義スタイルに戻ってしまったのですが、読解力の向上の突破口の一つは見えたかなという気持ちになっています。

とはいえ、経済の授業でグラフやデータ、数式が出てきたときに、どう音読させて理解させるか、これはなかなかの難問です。 (新井)

---

#### 【 4 】編集後記(みみずのたはこと)

---

今年は、トランプ政権のスタートからはじまり、東アジア情勢の緊迫、国内ではモリカケ問題、都議会選での小池旋風、突然の総選挙など政治がらみの出来事に注目が集まりました。その影響を受けたせいなのか、私の購入する本も経済の本より政治がらみの本が多かったように思います。今年も残すところあと一か月。これは面白いよ、一読の価値ありだという経済本があつたら紹介してほしい気分です。(新井)

---

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページより  
お手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

----- (C) Network for Economic Education ◆◇